

広島大学地（知）の拠点フォーラム開催案内

中山間地域・島しょ部と広島大学

—広島県の農水産業の将来を見据えた交流と連携—

広島大学が取り組んでいる「地（知）の拠点整備事業（COC）」では、大学が自治体を中心に地域社会と連携して、地域を志向した教育・研究・社会貢献を進めることを目的としています。広島大学は、地域の課題解決に資する人材を育成し、情報・技術が集まる地域社会の中核的役割を担うことを目指しています。

広島県の中山間地域や瀬戸内海島しょ部では、過疎化と高齢化が進み、活力低下という社会課題に直面していますが、各地域においては先進的な取り組みも進められています。

広島大学では、条件不利にもかかわらず、優れた活動を行っている地域住民、コミュニティ、地方自治体と強く連携し、学生に体験活動やフィールドワークを通して農山漁村の現場で起こる様々な問題を認識・学習してもらう取り組みを行っています。

このフォーラムでは、「中山間地域・島しょ部と広島大学」をテーマに、広島県の農水産業の将来を見据えた広島大学と市町・地域との交流と連携について、地域・学生・大学が討論し、ここで出された評価やアイデア・知識・知恵の融合によって、今後の地（知）の拠点や中山間地域・島しょ部の姿を、共有したいと考えております。

フォーラムの第1部は、「学生と地域とのエール交換」と題して、体験学習を行った学生と、受け入れていただいた地域の皆さまとの間で膝を突き合わせて、相互に意見や提言・苦言を交換し合います。また、今後の地域志向型教育のあり方について考えます。

第2部は「広島県の地（知）の拠点 円卓フォーラム」とし、受け入れ地域・自治体・大学による交流と連携の成果をより深く討論し、地の拠点に基づく教育の進め方、協同で取り組むべき地域農林水産業の課題、大学を媒介にした地域間連携と交流のシステムづくり、などを話しあう予定と見込んでいます。

皆様、是非このフォーラムにご参加いただき、広島大学が、広島県の農水産業の将来を見据えた地域との交流・連携にどのように取り組めばよいか、ご提言をいただければ幸いです。

開催日時：2014年12月11日（木） 12：50—16：30

開催場所：広島大学 学士会館レセプション・ホール

[12:50~13:00]

○開会あいさつ 広島大学 植松生物生産学部長
広島大学 藤本副理事

[13:00~14:20]

○第1部：学生と地域とのエール交換

司会 加藤愛（博士課程前期2年）

- 1) 地域との連携を模索した体験学習：経過報告 (10分)
- 2) 学生代表教養ゼミグループの活動報告・意見・提言など (20分)
(体験学習発表会の学生相互評価が高かった3ゼミ)
- 3) 受け入れ地域のメッセージ・提言・苦言など (30分)
安芸太田町 いにぴちゅ会・会長 河野司氏
大崎上島町 シトラスかみじま・組合長理事 金原邦也氏
世羅町 世羅幸水農園・組合長理事 原田修氏
- 4) 討議 (15分)

[14:15~14:20]

○広島大学 地(知)の拠点連携地域への感謝状贈呈

[14:35~16:25]

○第2部：(広島)地の拠点 円卓フォーラム

受け入れ地域・自治体・大学による交流と連携の成果

司会 細野賢治(准教授)

- 1) 体験学習についての学生アンケート調査結果の紹介 (10分)
- 2) 受け入れ地域の声紹介 (10分)
- 3) コーディネーターの立場から (5分)
- 3) 討議
- 4) まとめ } (85分)

[16:25~16:30]

○閉会の挨拶 生物生産学部教授 山尾政博

【問い合わせ先】

広島大学生物生産学部(生物圏科学研究科)地域連携室

TEL 082-424-7905 FAX 082-424-6480

mail chinokyo@hiroshima-u.ac.jp

HP : <http://hirodaicoc.hiroshima-u.ac.jp/chiikitaisaku/>